

Abiko City

基本目標 5

快適で
住み続けたいとなる
まちづくり
(都市基盤・公共交通)



5-1 適正な土地利用の推進

良好な自然環境を保全しつつ、継続的にまちが発展できる土地利用を進めます。

施策の展開内容

現在のコンパクトな都市構造を維持しながら、さらなるまちの利便性と活力の向上につながるため、関係法令に基づき、適正な規制・誘導を進めます。

また、市独自の良好な自然環境を保全しつつ、新たな市の発展を担う都市的土地利用を適地において検討します。

現状と課題

- 人口減少にともない空き地や空き家が増加し、「都市のスポンジ化」によるまちの魅力低下につながる懸念や、職住近接などのライフスタイルの変化が見られます。引き続き、規制と誘導により良好な市街地の形成に努めるとともに、変化に対応し、まちの魅力向上につながる土地利用が求められています。
- 事業拡大を希望する市内企業の流出や新たな企業の立地が進んでいない状況です。住宅都市として発展してきた本市の市街地には、産業用地として活用できる土地が少なく、住工混在も課題となっています。

主な取組

都市計画に関する総合調整

- 地区計画制度などを活用し、地区の個性を活かした魅力あるまちづくりを進めます。
- 産業用地の創出や住工混在の解消に向けた土地利用を図るとともに、千葉北西連絡道路の進捗にあわせて、新たなまちの活性化に向けた土地利用を検討していきます。

開発・建築行為に係る審査・指導・認定等業務

- 都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例などに基づき、開発行為や建築行為の適正な規制や誘導を行い、良好なまちづくりを進めます。



施策の満足度・不満度に関する指標

【適正な土地利用の実現】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 68.2%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		23.6%	48.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	13.1%	13.0% 以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	13.5%		
	湖北地区	16.2%		
	新木地区	17.9%		
	布佐地区	17.2%		



5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上

誰もが暮らしやすい良好な住環境と魅力的なまちなみの保全・形成を進めます。

施策の展開内容

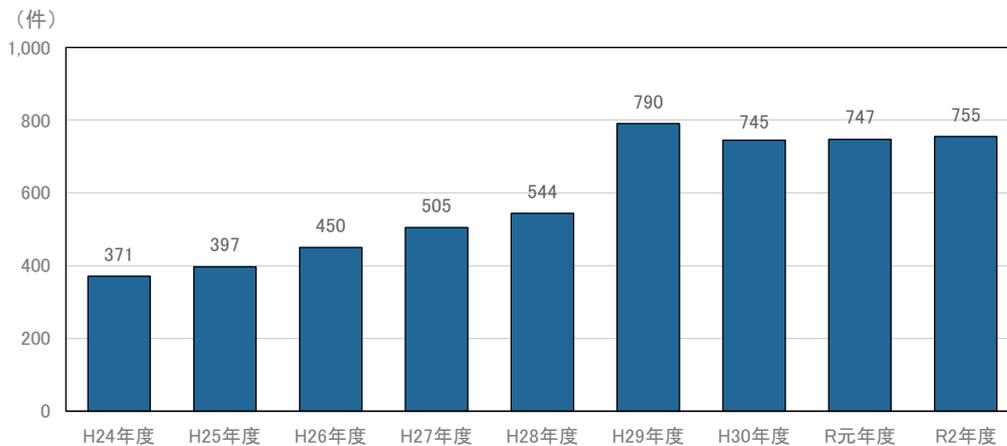
手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めていきます。

また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの充実を図ります。

現状と課題

- 少子高齢化や人口減少にともない、住まいに関するさまざまな課題が生じています。これらの多様な課題に対応するため、住まいに関する相談窓口などの情報提供や支援、空き家などの利活用を推進していく必要があります。
- 魅力的なまちなみや優れた景観は、住民の地域に対する誇りや愛着を醸成するとともに、まちへの来訪者を増やしてにぎわいをもたらしてくれます。市民・事業者・行政が協力して、魅力的なまちなみの形成や特色ある景観の保全に取り組む必要があります。

空き家の件数



主な取組

良好な住環境の保全

- 誰もが暮らしやすい良好な住環境を保全・形成していくため、住まいに係る支援や情報提供などの充実、空き家バンクの活用促進を図ります。
- 住宅に困窮する人に対し、安全で質の高い住宅を供給するため、市営住宅の適正な管理・運営を行います。

魅力ある景観づくり

- 屋外広告物の設置規制や建築物などの景観誘導により、手賀沼をはじめとする自然景観や歴史・文化的景観など地域資源を活かしたまちなみを形成していきます。
- 良好な景観づくりに取り組む市民団体などと協働で景観に関する情報発信や景観ポイントの魅力化に取り組み、市民・事業者の景観に対する関心と理解を深めていきます。

施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
市営住宅の入居率	91.8% (R2)	100%	
空き家バンク累計登録件数	4件 (R2)	38件	制度発足（平成30年3月）からの累計登録件数



施策の満足度・不満度に関する指標

【暮らしやすい良好な住環境】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 65.9%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		24.2%	46.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	12.0%	11.9% 以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	12.1%		
	湖北地区	16.9%		
	新木地区	14.3%		
	布佐地区	18.4%		

※『暮らしやすい良好な住環境』に満足している人の割合の現況値は、令和元年に実施した市民アンケートの「市営住宅の質的向上を図るとともに、住まいに関する情報提供・相談会の実施など、住宅の質を高めるための支援、若い世代の定住化に向けた住宅支援」に関する施策「良質な住宅供給の促進」についての回答結果を記載しています。

【魅力あるまちなみの実現】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 60.3%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		26.3%	42.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	12.8%	10.5% 以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	12.6%		
	湖北地区	10.6%		
	新木地区	15.5%		
	布佐地区	16.1%		



5-3 公共交通の利便性向上

誰もが安全かつ便利に移動できる交通環境を充実します。

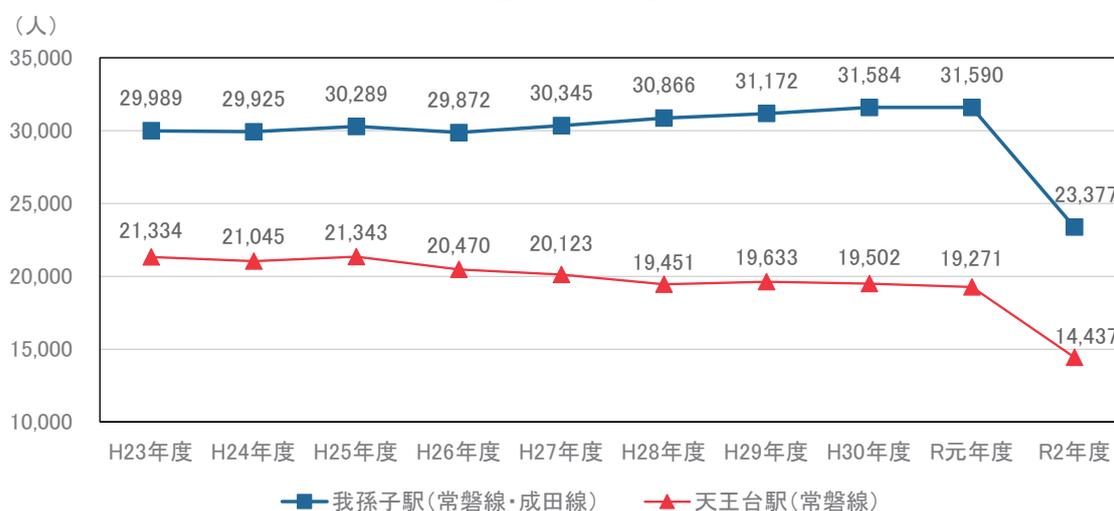
施策の展開内容

誰もが安全に安心して快適に地域で暮らせるよう、鉄道やバス、タクシーなどの利便性向上とバリアフリー化を進めていきます。

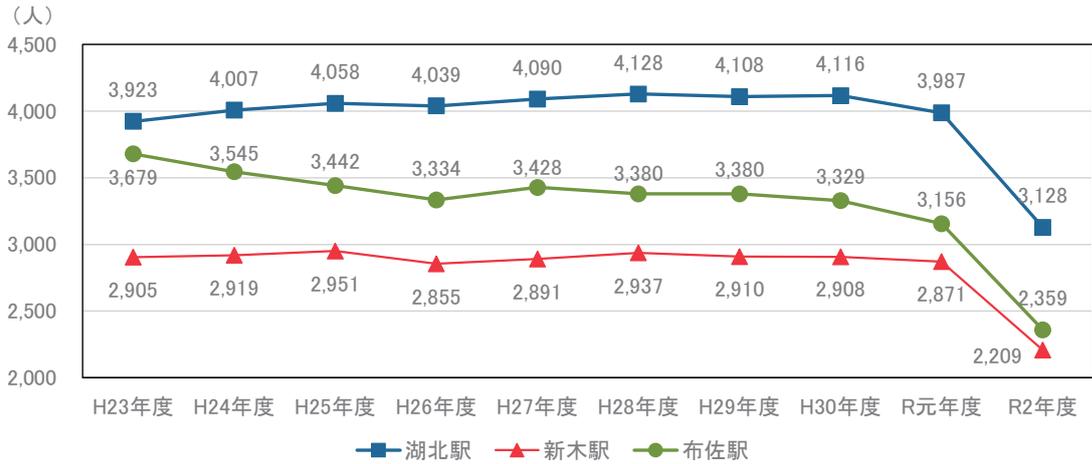
現状と課題

- JR常磐線は、通勤や通学をする市民の重要な交通手段となっています。快適に通勤、通学できるよう、駅施設の安全性や速達性の向上を図る必要があります。
- 市を横断するJR成田線は、市民にとって重要な公共交通機関となっています。今後も沿線地域の活性化のため、利便性の向上を図る必要があります。
- 公共交通の拠点である駅施設は、多くの市民が利用します。誰もが安全かつ便利に利用できるよう、バリアフリー化などの環境整備を進めていく必要があります。
- 高齢者の増加にともない、バスやタクシーなどの地域公共交通の重要性はますます高まっています。誰もが快適・円滑に移動できるよう、地域公共交通の維持確保と充実を図る必要があります。

常磐線駅利用者数



成田線駅利用者数



主な取組

地域公共交通の利便性向上

- 地域公共交通の維持確保と充実を図るため、民間事業者と協力し、観光事業などと連携した利用の促進に取り組みます。
- 民間施設の送迎バスなど地域の輸送資源を活用し、地域公共交通を補完していきます。

鉄道・駅施設の利便性向上

- 市民が快適に鉄道を利用し、沿線地域が活性化されるよう、沿線自治体などと連携し、重要な公共交通機関であるJR常磐線やJR成田線の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。
- JR東日本が行う、ホームエレベーターやホームドアなどの駅構内の施設の整備・改修及び駅の魅力を向上させるための新たな施設の整備について支援していきます。
- 駅利用者の安全性や快適性を保つため、市が整備したエレベーター・エスカレーターや自由通路の効果的な維持管理を行います。



施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
JR 成田線の1日の往復本数	40本 (R2)	42本	
JR 常磐線駅ホームドアの累計設置数	0基 (R2)	5基	我孫子駅7線、天王台駅4線が対象。令和7年度に5基、令和14年度に11基完了予定。
あびバスの延べ利用者数	205,443人 (R1)	220,000人	
市内バス停から乗車した印西市のふれあいバス延べ利用者数	16,609人 (R1)	18,000人	
東海道線との相互乗り入れ往復本数	0本 (R2)	1本	

施策の満足度・不満度に関する指標

【公共交通の利便性の向上】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 85.1%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合(市全体)	42.2%	60.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	26.4%	21.2%以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	21.3%	
	湖北地区	31.3%	
	新木地区	37.2%	
	布佐地区	39.8%	



5-4 安全で快適な道路の整備

誰もが安全で円滑に移動できる道路環境の整備を進めます。

施策の展開内容

さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。

また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。

現状と課題

- 道路は、交通機能だけでなく、ライフラインの収容、公共空間、防災空間としての機能を有し、都市全体の経済・社会基盤の形成に欠かせない役割を果たしています。こうした機能を維持するため、市内約540kmの道路を適切に管理していくとともに、市民が安全で快適に生活できるよう整備していく必要があります。
- 幹線道路は、都市計画道路23路線と、県道千葉竜ヶ崎線、我孫子関宿線、我孫子利根線の3路線を位置づけており、県事業の国道356号我孫子バイパス（都市計画道路根戸新田・布佐下線）の暫定整備が完了しました。接続する都市計画道路下ヶ戸・中里線及び青山・日秀線の早期の整備が求められています。
- 国が検討を進めている千葉北西連絡道路は、国道6号や国道16号の渋滞緩和のほか、市の活性化に寄与することが期待されています。千葉北西連絡道路の進捗に合わせて幹線道路網の見直しを行う必要があります。

主な取組

道路ネットワークの充実

- 市内の交通状況や道路の整備状況、国が検討を進めている千葉北西連絡道路の進捗に合わせて、幹線道路網の見直しを行います。
- 都市計画道路については、将来交通量や費用対効果を踏まえ、計画的な整備を進めます。
- 狭あい道路や交通に課題のある路線については、円滑な道路通行を図るため、道路改良・整備を計画的に進めていきます。
- 通学路の安全確保のため、関係機関との点検で指摘があった路線については、早期の安全確保に努めます。
- JR我孫子駅と手賀沼公園を結ぶ、市のシンボルロードである「公園坂通り」は、通過交通の抑制を図り、歩行者にやさしい「歩きたくなるみち」として計画的に整備を進めます。



道路の適正な維持・管理

- 障害者や高齢者、ベビーカー・車椅子利用者など、誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、歩道整備やバリアフリー改修を進めます。
- 魅力ある道路空間にするため、歩行者や車両の安全を確保しながら街路樹を守り育てるとともに、市民による道路環境美化活動の支援を行います。
- 市民や訪れる人に、道路への親しみやまちへの愛着を深めてもらえるよう、道路愛称の普及・定着を図ります。
- 道路補修や維持管理を適切に行い、安全に安心して快適に移動できる道路環境を維持していきます。
- 快適な歩行空間と車両の安全な通行を確保するため、放置自転車対策と自転車駐車対策を総合的に進めていく自転車等駐車対策事業を展開します。
- 道路情報の管理や情報提供を行うとともに、良好な道路環境を確保するため、事業者に必要な許可や確認を行います。

施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
都市計画道路の整備率	59.2% (R2)	60.6%	
道路 ^{かし} 瑕疵による賠償件数	5件 (R2)	0件	
駅前広場等における道路アダプトプログラムの実施箇所数	6箇所 (R3)	10箇所	



施策の満足度・不満度に関する指標

【幹線道路の整備】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 74.5%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		32.9%	52.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	15.7%	11.9% 以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	12.0%		
	湖北地区	17.0%		
	新木地区	18.1%		
	布佐地区	18.4%		

【安全で快適な道路交通環境の整備】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 80.6%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		33.2%	56.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	20.8%	15.9% 以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	16.0%		
	湖北地区	17.8%		
	新木地区	24.7%		
	布佐地区	20.5%		





5-5 利用したくなる公園の整備

誰もが使いやすく、過ごしやすい公園づくりを進めます。

施策の展開内容

市民ニーズを的確に捉えながら、子どもから高齢者まで、誰もが利用したくなる公園づくりを進めるとともに、安全に安心して利用できるよう維持管理に努めます。

現状と課題

- 公園や緑地は、私たちの生活にうるおいやすらぎを与えてくれる大切な都市空間であるとともに、さまざまな目的で利用されています。市民ニーズに応じた公園の整備と魅力の向上を図る必要があります。
- 市内には、都市公園が令和2年度末時点で222か所あります。市民にとってより身近で親しみやすい公園となるよう、市民との協働による公園づくりや公園管理を進めることが求められています。
- 市内にある公園の多くが、設置後30年以上経過しています。安全に安心して公園を利用できるよう、老朽化した遊具などの施設を更新する必要があります。

主な取組

地域のニーズに合った公園づくり

- 安全で快適に公園を利用できるよう、利用者のニーズに対応した公園の整備を進めます。
- 地域にとってより魅力的で憩いの場となるよう、公園の再整備や適正な配置に努めていきます。

公園の維持・管理

- 誰もが安全に安心して利用できるよう、公園施設の点検を実施し、必要に応じて老朽化した遊具など公園施設の更新を行います。
- 誰もが利用したくなる公園とするため、施設の適正な維持管理を行っていきます。
- より身近で親しみやすい公園とするため、地域住民の主体的な公園づくり活動を支援するとともに、公園管理における市民の自主的な活動を進めていきます。



施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
公園・緑地の面積	150ha (R2)	150ha	
市民手づくり公園の活動団体数	10 (R2)	18	
市民手づくり公園の数	12 (R2)	20	

施策の満足度・不満度に関する指標

【公園・緑地の整備・充実】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 71.9%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）	34.5%	50.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	16.1%	15.7% 以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	15.8%	
	湖北地区	18.1%	
	新木地区	21.4%	
	布佐地区	20.7%	





5-6 下水道の整備と普及

衛生的で快適な生活環境を確保するため、下水道施設の計画的な整備と維持管理を進めます。

施策の展開内容

衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。

また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。

現状と課題

- 本市の令和2年度末時点における、全体計画面積に対する整備済み面積の割合を示す下水道整備率は57.1%、市内の人口に対する供用開始区域内の人口の割合を示す普及率は84.6%です。今後も、下水道整備を計画的に進めていく必要があります。
- 供用開始から50年が経過した下水道管路が約10%あり腐食や破損など、劣化・老朽化の進行している箇所が確認されています。管路の適切な更新とともに、地震などへの対策を進める必要があります。
- 今後、人口減少などにより、下水道使用料の減収が予想されます。中長期的な視点に立った計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上などに取り組んでいく必要があります。

主な取組

下水道の整備と普及

- 下水道事業を安定的に経営していくため、自らの経営を的確に把握し、健全経営に努めます。
- 老朽化施設の改築・修繕や雨水の浸入対策など、計画的かつ効率的に維持管理を進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。
- 衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めます。



施策指標

目標値	現況値	目標値	備考
下水道の整備率	57.1% (R2)	59.6%	下水道の整備済み面積／下水道の全体計画面積
下水道の普及率	84.6% (R2)	87.4%	下水道の供用開始人口／市内の人口
重要な ^{かんきよ} 管渠の地震対策実施率	38.0% (R2)	72.8%	
水洗化率	99.02% (R2)	99.07%	水洗化人口／下水道の供用開始人口
経常収支比率	111.0% (R2)	117.0%	経常収益／経常費用
下水道使用料の徴収率	99.49% (R2)	99.55%	現年度分のみ
受益者負担金の徴収率	99.01% (R2)	99.10%	現年度分のみ

施策の満足度・不満度に関する指標

【下水道整備の推進】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 81.5%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）	46.3%	57.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	6.4%	8.9% 以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	9.0%	
	湖北地区	13.5%	
	新木地区	9.6%	
	布佐地区	10.2%	





5-7 安全な水道水の安定供給

水道の基盤を強化し、将来にわたり安全な水道水を供給します。

施策の展開内容

業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。

また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。

現状と課題

- 給水区域内人口はゆるやかな減少傾向にあるため、将来に向けて水需要が減少すると見込まれます。給水収益の落ち込みを見据えて、引き続き業務の効率化や費用の縮減などにより、健全な水道事業経営が求められています。
- 上水道は、市民生活や社会活動を支える重要なライフラインです。常に施設や設備を適正な状態に維持するため、計画的な点検や修繕、更新をしていく必要があります。

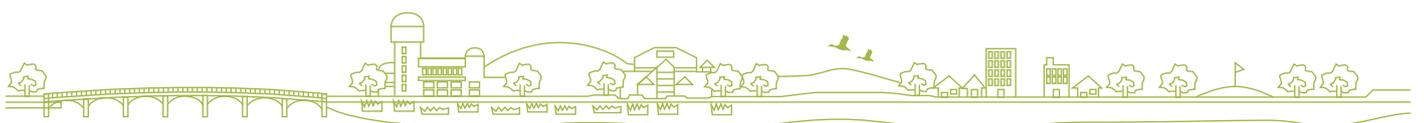
主な取組

水道事業の健全経営

- 中長期的な資産管理計画に基づいて健全な財政収支を維持し、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。
- お客様センターを効率的に運営し、水道料金の徴収・収納の事務や給水装置工事に関する業務監理などを適切に行っていきます。

安全で安心な水道水の供給

- 適切な浄水場の運用に努めるとともに、老朽化した施設の更新を計画的に進めます。
- 水道管路の重要度と老朽度を総合的に判断し、計画的に管路の耐震化を進めるとともに、適切な維持管理に努めます。
- 団地や学校、レジャー施設などの自家用の水道の設置者に対し、施設の布設工事や維持管理などが適正に行われるよう指導します。



施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
経常収支比率	115.1% (R2)	115.0%	(営業利益+営業外利益) / (営業費用+営業外費用)
料金回収率	106.6% (R2)	106.0%	供給単価/給水原価
有効率	95.0% (R2)	95.0%	年間有効水量/年間配水量
管路耐震適合化率	44.0% (R2)	51.0%	

施策の満足度・不満度に関する指標

【上水道の安定供給】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 85.3%

指標名	現況値	目標値	備考	
満足している人の割合(市全体)	51.7%	60.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合	
不満を感じている人の割合	我孫子地区	3.8%	3.4% 以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	5.8%		
	湖北地区	9.5%		
	新木地区	3.5%		
	布佐地区	5.7%		

